

アシスト、社内の PC 950 台のデスクトップ OS を Windows から Ubuntu へ全面移行 ～ OpenOffice.org 採用から 5 年、OS もオープンソースへ ～

株式会社アシスト(本社:東京都千代田区、取締役社長:大塚辰男、略記:アシスト)は、従業員全員が日常的に利用する社内デスクトップ OS として、世界的に人気が高まっている Ubuntu を採用したことを発表します。全社への展開は 7 月末に完了します。

アシストは 2006 年にオープンソースのオフィス・ソフト OpenOffice.org の社内導入に取り組み、2007 年 2 月より全社の標準オフィス・ソフトとして運用を開始しました。そして、自社での経験を OpenOffice.org 支援サービスとして提供する中で、「オープンソースの OS もサポートして欲しい」という多数の顧客企業からの要望に応えるために、2011 年 6 月、英国 Canonical 社*と提携し、デスクトップ、サーバおよびクラウドなどで人気が高い Linux OS「Ubuntu」のエンタープライズ向けサポート・サービス「Ubuntu Advantage」の提供を顧客向けに開始しました。また、このサービス提供に際し、従業員が利用する業務用 PC をすべて Windows から Ubuntu に移行する方針を決定しました。

*Canonical 社:Ubuntu プロジェクトのスポンサーであり、Ubuntu の主要開発元。アシストが日本国内での総代理店を務めるサブスクリプション・サポート「Ubuntu Advantage」を提供。

2011 年 7 月に Ubuntu デスクトップを社内導入するためのプロジェクトを立ち上げ、各部署の代表約 50 名が Ubuntu デスクトップを導入し、プロジェクト内で既存の Windows アプリケーションの利用状況の確認や課題に対する解決策の検討および準備を開始しました。オフィス・ソフトは 5 年前に OpenOffice.org に移行済みであるため、Ubuntu が搭載している、OpenOffice.org から派生したオフィス・ソフト LibreOffice に変わっても、特に問題は発生しないと予測されました。

Windows 上で稼働する社内標準のメーラーからオープンソースの Mozilla Thunderbird への移行は、メール・データを移行するツールを用意することで問題なく行えることになりました。また、標準ブラウザは、操作性などについて Mozilla Firefox を検討した結果、支障なく移行可能であると判断しました。

業務で利用している営業支援システムなど、Windows でしか動作せず、すぐに Ubuntu 対応が難しい一部のアプリケーションについては、利用者を限定した上でアプリケーション仮想化を使用し、暫定的に対処することになりました。また、準備／検討段階で大きな課題となったのは、従業員が共有で利用している複合プリンタの使用時に認証に必要なドライバが提供されていないということでしたが、これはプリンタ・メーカーからの技術情報の開示と Canonical 社の協力を得て、社内開発にて解決することができました。

従業員からのトラブル報告や操作に関する問い合わせは、顧客向けに「Ubuntu Advantage」を提供しているアシストのサポートセンターが担当します。すべての PC は、「Ubuntu Advantage」が提供するシステム管理ツール「Landscape」を使って集中管理し、暗号化なども Ubuntu 上で稼働する各種オープンソース・ソフトウェアを利用します。

移行の目処がたったことから、2012 年 4 月に中日本支社、5 月から 6 月上旬にかけて西日本支社に所属する従業員の PC の OS を一斉に Ubuntu へ移行しました。市ヶ谷本社については 6 月末までに移行を行い、全社の移行完了は 7 月末を予定しています。

移行に関する詳細は 7 月 4 日(水)に開催されるアシストフォーラムなど各種イベントにて紹介予定です。

◎アシストの Ubuntu 導入に関するセミナーについて

7月4日に開催される「アシストフォーラム 2012 in 東京」では、「Windows から Ubuntu への Desktop 移行自社事例」と題し、Ubuntu への移行に至った経緯と移行時の課題、そして効果や今後の取り組みについてご紹介します。

「アシストフォーラム 2012 in 東京」

日時:2012年7月4日(水) 14:40~15:30(A-2 セッション)

<詳細 URL><http://www.ashisuto.co.jp/event/af2012/>

- ※ Ubuntu (ウブントウ、ウブンツ) は、オープンソース・ソフトウェアで構成されたオペレーティング・システム (OS) です。Linux ディストリビューションの 1 つであり、デスクトップ、そしてサーバに利用することができます。Ubuntu は、現在、そして将来にわたって無償で提供されます。また、最新のバージョンを 6 カ月ごとにリリースすることを宣言しており、オープンソース・ソフトウェアの最新の優れたアプリケーションを常に利用できます。
- ※ OpenOffice.org はオープンソースで開発され、ソースコードが公開された、無償で自由に利用できるオフィス・ソフトです。高機能で Microsoft Office と高い互換性を持ち、大手企業／自治体による採用実績があること、ファイル形式に国際標準規格 (ISO26300) および日本工業規格 (JIS X4401) に登録されている ODF (OpenDocument Format) が採用されていることなどから注目を集めています。現在は Apache OpenOffice として Apache ソフトウェア財団 (Apache Software Foundation: ASF) にて開発が進められています。

■株式会社アシストについて

代表取締役会長:ビル・トッテン

取締役社長:大塚 辰男

設 立:1972年3月

社員数:830名(2012年1月1日現在)

本 社:東京都千代田区九段北 4-2-1

URL :<http://www.ashisuto.co.jp/>

アシストは、特定のハードウェア・メーカーやソフトウェア・ベンダーに偏らない、幅広いパッケージ・ソフトウェアを取り扱う会社です。複数のソフトウェアと支援サービスにアシストのノウハウを組み合わせ、企業の情報システムを情報活用、運用、データベースのそれぞれの分野で支援しています。今年創業 40 周年を迎えたアシストは、ツールやサービスのアシスト独自の組み合わせにより「メーカー」を超える価値の提供を目指して活動しています。また、アシストでは、2012年7月、全国4会場で、25社の顧客による事例発表を含むプライベート・イベント「アシストフォーラム 2012」を開催します。

開催概要 URL:<http://www.ashisuto.co.jp/event/af2012/>

■アシストのオープンソースへの取り組み

アシストは 2007 年より「OpenOffice.org」を社内標準とすると共に、支援サービスを 140 以上の企業／団体に提供してきました。デスクトップではメーカーの「Thunderbird」、ブラウザの「Firefox」、オフィスソフト「LibreOffice」、「Apache OpenOffice」の支援サービスも開始しています。サーバではデータベース「PostgreSQL」、「Postgres Plus Advanced Server」、「MySQL/MariaDB」のサポートを提供しています。また、2011 年よりサーバおよびデスクトップの LinuxOS である「Ubuntu」のサポートも開始しました。

■ニュースリリースに関するお問い合わせ

株式会社アシスト 広報部 担当:田口
TEL:03-5276-5850 FAX:03-5276-5895
E-Mail:press@ashisuto.co.jp

■「Ubuntu Advantage」に関するお問い合わせ

株式会社アシスト システムソフトウェア事業部 公開ソフトウェア推進室 担当:小川、小屋敷
TEL:03-5276-5807 FAX:03-5276-5878
E-Mail:oss_web@ashisuto.co.jp
詳細 URL:<http://www.ashisuto.co.jp/prod/ubuntu/>

※記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

※ニュースリリースに記載された製品／サービスの内容、価格、仕様、お問い合わせなどは、発表日現在のものです。
その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。